

政策番号	11	政策分野	大学
------	----	------	----

基本方針	悠久の歴史、伝統的な文化芸術、最先端技術等の京都の魅力とともに、「大学のまち京都」を発信し、国内外の学生をより多く受け入れ、先見性や創造性、卓越した指導力をもつ人材を育成する。また、集積された大学の知を新産業の創出や文化芸術の創造に生かすことにより、魅力と個性にあふれる「大学のまち・学生のまち」をめざす。
------	---

担当局	総合企画局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018 京都市国際化推進プラン
----------------	---

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 29	平成 30	令和元年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	市内の学生数が全国の学生数に占める割合(%)	4.6	5.0	a	a	4.9	4.9	4.9	100.0%	a
				a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成29	平成30	令和元
1101	京都で学び、住み続けたい「大学のまち」の実現(1指標)	b	b	b
1102	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大(1指標)	b	c	c
1103	学生のパワーで活気あふれる「学生のまち」の実現(2指標)	b	a	a
1104	産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進(1指標)	a	b	b
(4施策平均)		a	b	b

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	平成29	平成30	令和元
	a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成29	平成30	令和元
1	京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	a	a	a
2	京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。	b	b	b
3	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。	a	a	a
4	学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。	b	c	b
5	大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。	b	b	b
政策の市民生活実感調査総合評価		a	a	a

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成29年度		平成30年度		令和元年度	
順位	%	順位	%	順位	%
26	70.9%	23	75.6%	22	71.5%

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている	平成 30 年度	A
【客観指標総合評価】 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
【市民生活実感調査総合評価】 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。		平成 29 年度	A
【総括】 ・客観指標が順調に推移するとともに、市民の実感も「学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。」の評価が上がるなど高評価だったことにより、昨年度に引き続きA評価となった。多くの大学が集積し、多くの学生が学んでいる「大学のまち京都・学生のまち京都」の強みが反映された結果となった。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、十分に達成されていると評価できる。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成29	平成30	令和元
1101	京都で学び、住み続けたい「大学のまち」の実現	A	A	A
1102	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大	A	B	B
1103	学生のパワーで活気あふれる「学生のまち」の実現	B	B	B
1104	産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進	B	B	B

<今後の方向性>

①京都で学び、住み続けたい「大学のまち」の実現

・社会人を対象とした生涯学習事業「京カレッジ」について、毎年好評いただいている京都力養成コース「京都学講座」をはじめ、受講者に京都ならではの特色ある科目を提供するなど、個性あふれる大学が集積している利点を生かした「学びの環境」の充実に取り組んでいく。
 ・大学間連携により京都で学ぶ魅力を向上させるため、京都鉄道博物館や京都国際マンガミュージアム等、京都を代表する学生の関心が高い施設において、「京都世界遺産PBL科目(※PBL:課題発見・解決型学習)」に続く「文化芸術都市・京都」の利点をいかしたPBL科目の開設に取り組んでいく。

②大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大

・グローバル化の進展に伴い世界的に留学生の獲得競争が激しくなるなか、「留学生スタディ京都ネットワーク」において、海外向け京都留学総合ポータルサイトの運営や海外での京都留学フェアなど、情報発信や受入環境整備に引き続き取り組んでいく。
 ・令和元年度から新たに首都圏の日本語学校で学ぶ留学生を主な対象に、京都の大学等への進学を促進するための誘致活動を実施していく。
 ・「京(みやこ)グローバル大学」促進事業において、認定した10大学における留学生誘致や日本人学生の海外留学派遣、交換留学につながる海外大学との提携等、大学及び学生の国際化促進に向けた取組を支援していく。
 ・来日直後の留学生に対する行政手続等に係る情報提供、支援メニューの提供、文化施設への入場優待、市内企業への就職支援等に取り組む、留学先としての京都の魅力向上を図る。

③学生のパワーで活気あふれる「学生のまち」の実現

・輝く学生応援プロジェクトの一環として、地域の催しやイベントに学生の参加を求める地域団体と、発表の場を求める学生団体・サークルを結びつける「むすぶネット」(学生・地域連携ネットワーク)において、地域と学生団体・サークルの双方のPR機会を充実する。
 ・年間を通じた地域交流活動の推進、積極的な広報活動等により、実行委員等の学生数を増やし、学生主体の京都学生祭典を維持・発展させていくことにより、学生の成長につながる活動を支援していく。

④産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進

・大学と地域の連携による「地域の課題解決」や「まちの活性化」を目的とした取組を支援することにより、京都のまち全体の教育・研究の実践、体験の場とし、大学教育の充実と地域の発展を目指す。また、産学公連携の更なる強化を図り、イノベーションの創出や京都経済の活性化を、より一層進める。

政策名	11	大学	
指標名	市内の学生数が全国の学生数に占める割合（％）		
担当部室	総合政策室	連絡先 222-3103	
1 指標の説明			
市内の大学・短期大学の学生数が全国の学生数に占める割合			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
「大学のまち京都・学生のまち京都」として、大学や学生の集積状況を示す指標		出典：文部科学省「学校基本調査」	
4 数値			
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値 4.6	令和2年度目標値 5.0	根拠 18歳人口が減少する中で、確保を目指す全国の学生に占める割合
	前回数値 平成29年度 4.9	最新数値 平成30年度 4.9	推移 増減なし
			単年度目標値 根拠 令和2年度目標値の達成に向け、当該年度に達成すべき数値
			達成度 100.0%
	全国順位	中長期目標	
		数値	目標年次 達成度 根拠
	数値		
			備考
5 評価基準		6 基準説明	
最新数値の単年度目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満		・単年度目標値を達成すればa評価 ・以下5%刻みでb～e評価	
		7 評価結果	
	平成29	平成30	令和元
	a	a	a